

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	02050318	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	障害児通所支援給付費事業	担当部署名	健康福祉課	
		作成責任者職氏名	課長 菊井 佳宏	内線 340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	02健康・福祉	05障がい者福祉の推進	03地域生活支援サービスの提供	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年度 ~ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	児童福祉法	義務付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
①目的 施設等において障がいのある児童に対する訓練等を行い、もって、障がい児福祉の向上を図ることを目的とする。	
②内容 障がいのある児童に対する訓練等	
障がいのある児童	
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
障がいのある児童の健全な成長	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	3,550	4,422	3,780	3,780			
財 源 内 訳	国庫支出金		1,775	2,211	1,890			
	府支出金		887	1,105	945			
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源		888	1,106	945	945			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)		0.01	0.01	0.01			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	59	59	59			
総コスト費(千円)(A+C)	0	3,609	4,481	3,839	3,839			
人口あたりコスト(円)	0	596	739	633	633			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	サービス支給決定者数	人	2	3	150%	3	3
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 150% / 1 = 150% (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	

○事務事業評価値 (①～④の合計/16) **12** / 16 **75%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
150%	75%	113%	a
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
障がい者福祉の向上のため、必要であるとする。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
/	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
障がい者福祉の向上のため、必要であるとする。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止